

# 主体性を重んじる校風と伝統

伝統ある校舎

## 「県南の雄・栃高」一発展し続ける伝統進学校一



校長  
大川 直邦

本校は、明治29(1896)年4月に栃木県尋常中学校栃木分校として開校し、今年で創立125周年を迎えた、歴史と伝統ある普通科男子高校です。校訓「独立自尊」「信敬愛」「進取創造」「質実剛健」のもと、生徒一人一人に対して、高い志を持ち、時代を切り拓くリーダーとなる資質・能力を育成する教育活動を行っています。「県南の雄・栃高」と称されるとおり、東京大学をはじめ難関大学に数多くの合格者を輩出するとともに、卒業生総数は29,000名を越え、県内、全国、さらには海外の様々な分野において、社会の中核として活躍しています。校内には、創立当時の校舎「記念館(御聖蹟)」のほか、「講堂」、「記念図書館(養正寮)」という、国の登録有形文化財が3棟現存しており、今なお、授業や講演会等で利用され、地域の行事にも開放されています。歴史と伝統を肌と感じ、誇りを持って高校生活を送ることができます。

また、本校には、「文武両道」「切磋琢磨」「自主自律」の良き伝統と校風があります。生徒たちは、「授業第一」の生活を送りながら、同時に、学校行事や生徒会活動・部活動にも全力で取り組んでいます。その結果、毎年多数の部活動等の団体が、関東・全国規模の各種大会、学会等に出場し活躍しています。このように、意図的・計画的に実施される学校行事をはじめ、3年間の全ての教育活動への主体的な参加と経験を積むことによって、全人的な成長、未来のリーダーの基盤形成が図られています。

授業では、全ての教科でICT活用と生徒参加型の主体的な学びを重視しています。生徒の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現を意識し、生徒と教員が共に学ぶ授業に取り組んでいます。

また、10年目を迎えた国指定の「SSH事業」では、その柱の一つである「課題研究」を通して、科学的に学ぶ力、「探究力」の育成に取り組んでいます。ここで身に付けた能力を、各教科の学習はもとより、学校行事や生徒会活動・部活動など、高校生活のあらゆる場面で生かすことを期待しています。さらに、大学入試や大学での学び、ひいては現代社会で生きていく上での重要な力であると考えています。

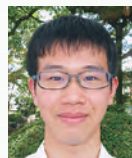
今年度、本校の教育活動をわかりやすく整理し、「栃高ランドデザイン」としてリーフレットにまとめました。校訓や教育目標、これまでの取組み等を踏まえ、「スクール・ミッション」と、本校入学から卒業までの成長や、3つの「スクール・ポリシー」を表現しました。

- ☆スクール・ミッション(栃高の社会的使命・存在意義、「目指す学校像」):
  - 「時代を切り拓くリーダーの育成」(時代の要求に応えられるリーダーの育成)
- ☆スクール・ポリシー(栃高での学びとミッション実現のための3つの指針・戦略):
  - ①アドミッション・ポリシー: 栃高入学時の「求める生徒像」
  - ②カリキュラム・ポリシー: 高校3年間の「教育活動」、栃高GP(後述)育成の手段等
  - ③グラデュエーション・ポリシー: 栃高卒業時の「栃高GPの修得」
- ☆栃高GP(グラデュエーション・ポリシーのこと。スクール・ミッション実現の柱):
  - ※栃高生として、卒業までに身に付けさせたい8つの資質・能力、新学習指導要領にも対応
  - 学成力〔知識・技能〕: ①基盤形成力・②展開力
  - 養正力〔探究力〕〔思考・判断・表現〕: ③課題設定力・④情報編集力・⑤考察力・⑥発進力
  - 和信力〔主体的に学習に取り組む態度〕: ⑦自己管理能力・⑧協働力

さらに、令和4年度から、「進学型単位制」が本校に導入されます。制度のメリットを生かして、少人数や習熟度別の授業に加え、新たに多種多様な科目を開講します。基礎となる共通科目を中心に学んだ後、2・3年次からは、高大接続を意識したコース等に応じた多様な科目を選択できます。これによって、生徒一人一人の「高い志」と「最難関大学等への進学」の実現を目指し、よりきめ細かな学習・進路指導を行うこととしています。

栃高で学ぶ生徒達は、多様な個性を持っており、さらに、誰もが大きく飛躍する可能性を秘めています。これからも生徒の主体性育成や、切磋琢磨を促し、「生徒一人一人の夢を育み、志に高め、その実現を目指す」を合言葉に、教職員が一丸となって取組みを進めていきます。

最後に、このパンフレットを目にした中学生諸君。来春はぜひ本校に入学し、充実した高校生活と、栃高の新たな歴史と伝統を築いていこう!



令和3年度生徒会長  
小倉 大輝

## 「栃高での学びと人間的成長」

栃高の数ある魅力を紹介し尽くすことはできませんが、あえて挙げるとすると「主体性」と「人」です。

栃高では生徒の「主体性」を重視しています。「自主性」ではなく「主体性」。どちらも自分から進んで物事を行うという点で共通していますが、「主体性」はさらに「自分で目標を設定し、目標の達成のために努力する」という意味を持ちます。栃高は主体性を発揮する場面がたくさんあります。例えば日々の学習や部活動、生徒会活動です。自分で決めた進路希望の達成に向けて学習に全力で取り組む人、部活動を通して自分のやりたいことにとことん打ち込む人、生徒会活動を通じて将来に向けて自分の能力を高めたい人、いろいろな考えの人たちが日々全力で生活しています。

では、なぜ栃高では主体性を発揮することができるのでしょうか。それは、自分の力を極限まで高めようという気持ちにさせてくれる人たちが、自分の目標の実現を全力で支えてくれる人たちが栃高にはいるからです。共に生活する仲間たちとは、同じ目標に向かって努力し、切磋琢磨することができます。彼らも主体性にあふれています。仲間から受ける刺激が自分の考えや主体性を引き出してくれます。お互いの考えを理解できるまで対話し、協力し合うことができます。先生方は私たちの考えに助言をくださり、やりたいことの実現に導いてくれます。現役の大学生や社会で活躍している卒業生との交流は、私たちの世界を広げ、新たな視点を得ることができます。仲間、先生、卒業生、栃高での生活で出会うすべての「人」が私たちの力を引き出し、支えてくれます。だから栃高ではたくさんの方に挑戦することができます。全力で主体性を発揮することができます。

ところで、この文章を読んでいる皆さんの中には、自分のやりたいことが何なのかよくわからないという人もいます。私もその一人でした。しかし、栃高に入学して主体性あふれる仲間と出会い、彼らと対話し、自分なりにやりたいことを見つけることができました。また、仲間がいたからこそ、日々の学習や部活動や学校行事に全力で取り組み、たくさんの経験をすることができました。私は栃高での日々を通して、自分の考えを持ち、最後までやり抜くこと、対話の重要性、リーダーのあり方を学ぶことができました。これらすべてが人間的成長だったと感じています。

栃高での生活すべてが学びです。自分の目標がある人、いろいろな世界を見てみたいという人、栃高に来ましょう。栃高はみなさんの力を極限までのばすことができる学校です。目標はまだ決まっていなくても、とにかく成長したいと考えている人、栃高に来ましょう。最高の仲間、最高の先生、最高の環境が皆さんを支え、新たな世界へと導いてくれます。栃高での3年間は皆さんを人間的に成長させてくれるはず。皆さんの入学を心よりお待ちしております。

## 校訓

独立自尊 和信敬愛  
進取創造 質実剛健

## 教育目標

一人一人が、人間として調和のとれた発達をめざして努力するとともに、民主的社会的形成者として必要な資質を養い、自己と社会のあり方を広い視野に立って理解し、社会の動向に正しく対処でき、将来有為な人材となる。

1. 学力を高め、教養を深めて、判断力のある生徒となる。
2. 気力、体力の充実に努めて、健康で明朗な生徒となる。
3. 自主的、積極的に行動して、全力的で生き生きとした生徒となる。
4. 自他を敬愛して、協調性豊かな生徒となる。
5. 勤労と責任を重んじて、誠実で勤勉な生徒となる。